

病院医師や看護師等における 在宅医療についての理解向上のための取組み

昨年度の地域医療推進懇談会では、在宅医療を手掛ける診療所数の増加や、円滑な退院支援、またバックベッド等の病院の支援等を推進するためには、診療所の医師、また病院医師や病棟看護職員等の病院スタッフの、在宅療養患者の生活や在宅医療・介護支援体制等の現状についての一層の理解促進が必要であるとの意見が多数でした。

1 取組みの目的やポイントのイメージ

昨年度の懇談会で出た意見を踏まえて、取り上げるテーマ選定や対象等の企画の参考となるよう、目的(ねらい)や深めるべき内容のポイントを以下にまとめました。

○病院について

- ・病院から在宅へのスムーズな移行
- ・急変時を含む、必要な検査や治療のための入院受入れ支援等の円滑化

- ⇒ ・在宅療養及び在宅医療の実際についての理解を高める
・地域の在宅療養を支える職種の理解と連携を深める

2 懇談会委員病院における取組み状況について

次項以降に、懇談会の委員である病院の取組み内容を記載しています。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：大阪大学医学部附属病院

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
腎臓内科・保健医療福祉ネットワーク部	慢性腎臓病地域連携勉強会	地域の医師、看護師、薬剤師	腎臓病の基礎、在宅での腹膜透析の方法とトラブル対処法についての講演と実習	約50人	H29.1.19
腎臓内科	北摂PD医療連携セミナー	地域の医師、看護師、薬剤師	高齢者の在宅腹膜透析の課題と地域連携の推進についての講演会	約50人	H28.9.29

【取組みを実施して感じられる成果】

腹膜透析は、訪問看護ステーションや地域の診療所にとって経験の少ない治療手段であったが、具体的な手技を含めて詳細な内容を研修したことにより、地域での受け入れと連携が徐々にスムーズになりつつある。

【平成29年度の実施予定】

平成29年5月18日 慢性腎臓病地域連携勉強会
平成29年9月28日 北摂PD医療連携セミナー

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：済生会千里病院

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
患者支援センター	なでしこプラン研修会	介護事業所、ケアマネ等	急性期病院の役割と在宅医の立場(講演) 地域連携に関し、参加者によるグループワーク(意見交換)	148人	H28.6.9
同	千里 在宅医療・緩和を考える会	地域医療機関(病院、診療所等)や在宅医療スタッフ	一人暮らしを支える在宅医療の実践症例報告 急性期病院の役割と在宅医の立場(講演)	183人	H28.6.9
同	千里 在宅医療・緩和を考える会	地域医療機関(病院、診療所等)や在宅医療スタッフ	病院で終末期を迎えた認知症患者の症例報告 認知症の方が在宅で暮らすために必要なこと(講演)	151人	H28.11.10
同	千里 在宅医療・緩和を考える会	地域医療機関(病院、診療所等)や在宅医療スタッフ	在宅医療・緩和を考える会課題提起 若年がん患者の在宅医療連携(症例報告及び検討) 慢性心不全患者さんの在宅医療連携(同上)	92人	H29.3.9

【取組みを実施して感じられる成果】

地域医療機関や介護事業所や在宅医療に携わるスタッフとの連携推進、顔の見える関係づくりに主眼を置き企画してきた。そのなかで、それぞれの立場からの意見交換などができ、相互理解も進んでいっている。
 今後は、がん患者さんだけでなく、慢性疾患についても理解や知識を深め、「高齢者のケアプランのあり方」、経済的な課題など話題も取り上げていきたい。

【平成29年度の実施予定】

2017.6.22 なでしこプラン研修会、在宅医療・緩和を考える会(心不全の在宅管理)

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：済生会吹田病院

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
地域医療支援部 人材開発室	院内教育研修会	全職員	在宅専門医による在宅医療についての講演会 在宅医療とは「入門編」 講師：おおさか往診クリニック 田村 学医師	医師 20人 看護師 26人 その他 67人	H28.5.13
地域医療支援部	済生会吹田病院 第1回ティータイムセミナー	吹田市JR以南地区の地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員	「当院の外来の機能・役割について」 講師 外来看護師 外来部門 見学	院外 15人 院内 19人	H28.5.15
	済生会吹田病院 第2回ティータイムセミナー	摂津市および東淀川区東ブロックの地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員	「当院の外来の機能・役割について」 講師 外来看護師 外来部門 見学	院外 15人 院内 19人	H28.8.16
	済生会吹田病院 第3回ティータイムセミナー	吹田市JR以南地区、摂津市および東淀川区東ブロックの地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員	「当院の在宅支援調整室の役割～在宅医療の窓口は私たちです～」 講師 入退院・在宅支援調整室 和田室長 グループワーク	院外 36人 院内 15人	H28.11.22
	済生会吹田病院 第4回ティータイムセミナー	吹田市JR以南地区、摂津市および東淀川区東ブロックの地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員	「当院の薬剤師の役割」～みなさんの質問にお答えします～ 薬剤部 グループワーク	院外 23人 院内 15人	H29.2.14
看護部 入退院・在宅支援調整室	看護部 中堅研修 「訪問看護①」	卒後4～9年目及び師長推薦 看護師	訪問看護の基礎知識を理解し、在宅生活に向けての支援ができる 講師：吹田訪問看護ステーション 児浦所長	14人	H28.5.10
	訪問看護ステーション 実習	看護部 中堅研修 「訪問看護①」研修を終えた者	吹田訪問看護ステーション 訪問看護実習 5日間	14人	H28.7.4～ H28.12.2
	看護部 中堅研修 「訪問看護②」	看護部 中堅研修 「訪問看護①」研修、訪問看護ステーション実習を終えた者	吹田訪問看護ステーション実習（5日間）を終えての、気づきと学びを共有し、退院支援・療養支援へ繋げることができる。事例検討	14人	H29.2.10

【取組みを実施して感じられる成果】

<院内教育研修会>

医師の参加は少なかったが、リハビリ・栄養士・看護師など在宅医療に興味がある職員の参加が多かった。参加した職員の在宅医療についての理解は深まった。

<ティータイムセミナー>

ケアマネジャーや地域包括支援センター職員の当院への理解が深まるとともに、院内スタッフがケアマネジャーらの業務や困りごとを聞くことで、相互理解が深まった。

<看護部研修>

研修で、退院支援に関係する制度、退院支援プロセスを理解することで、生活の場に退院していく患者のイメージが付き、実際に訪問看護実習で自宅訪問することで、イメージが実感に変わったという研修生の声があった。中堅研修を終えたスタッフが部署で伝達をすることで、「退院支援」が少しずつ出来る様になってきた。外来スタッフが研修に参加したことが「療養支援」を支える、病棟・外来・地域の連携のイメージを持ってもらえた成果が大きい

【平成29年度の実施予定】

○ティータイムセミナー

今年度も継続し、年3回程度開催予定。テーマは当院のがん診療やそれにまつわる事例検討を計画中

○看護部研修

中堅研修「訪問看護①②」、訪問看護ステーション実習を行う。

訪問看護①6/16

訪問看護実習:7月~12月

訪問看護②3/9

○地域医療支援部門

在宅医療推進懇談会開催予定。院内・院外の医師に参集頂き、在宅医療連携を進めるための問題を抽出し、課題解決に向けて共に何が出来るか、協議する。

在宅医療等についての理解や知識・スキルの向上について

団体名：市立吹田市民病院

【平成28年度の取組み】

企画担当部署	取組み名	対象	内容	参加人数	開催日
病院 腫瘍内科	臨床セミナー	院内職員、院外の医療機関や 介護サービス事業所	「在宅医が考える医療連携について」 講師：緑・在宅クリニックの清水一亘先生	102人	H28.12.15
吹田呼吸 ケアを考 える会：委員 会	吹田呼吸ケアを考える会	院内職員、院外の医療機関や 介護サービス事業所	15回「肺の病気ってなーに？ ～肺炎・COPDなどの基礎を学ぶ～ 講師：呼吸器・アレルギー内科医師 16回「呼吸器患者のケア・リハビリのコツ」 講師：市民病院理学療法士・看護師・薬剤師・ 臨床工学技士	15回：20人 16回：18人	H28.10.13 H29.3.23

【取組みを実施して感じられる成果】

在宅療養に関する講演等は現在少なく院内スタッフにもっと啓発していく必要はある

【平成29年度の実施予定】

- ・29年度の臨床セミナーの予定で在宅療養に関する内容は現時点ではない
- ・吹田呼吸ケアを考える会は年2回の開催予定としているが内容は未定